

| | |
|------|--|
| 種類 | 木工芸研修（通年） |
| 目標 | 沖縄産木材を使った木工芸の基本技術、応用技術を習得する。 |
| 講師 | 25年以上の沖縄の木工芸技術、事業歴（または同等の技能）を有する熟練技術者 |
| 定員数 | 4名 |
| 研修期間 | 4月中旬～翌年3月中旬（※5日/週：火～土曜日、※日・月・祝日、慰霊の日、12/29～1/3は休み） |
| 研修時間 | 9時15分～17時15分 |
| 場所 | おきなわ工芸の杜内 木工芸共同工房（所在地：沖縄県豊見城市豊見城1114番1） |

年間カリキュラム

| 項目 | 科目 | 内容 | 日数 (目安) |
|-----------------|--|---|------------|
| 木工芸の知識 | 沖縄産木材の特性理解、乾燥、保管 | 琉球松、ガジュマル、フクギなど沖縄産木材の取り扱い（選別、乾燥、保管）に関する知識を習得する。 | 30 |
| | 手工具・加工機械、治具 | 手鉋（かんな）、鑿（のみ）など手工具の手入れ、各種の加工機械の使用と安全作業について習得する。 | |
| | 接着・塗装 | 本漆、植物オイルなど天然系、ウレタン、ラッカーノードの石油系材料に関する知識を習得する。 | |
| | 製品計画、デザイン | スケッチ、製図、木取表、工程図など、木工品の制作に要する知識を習得する。 | |
| 【課題制作】 木工芸技術 | 【挽物】 木皿、花器など、木工ろくろや旋盤による円形製品の製作。切削刃物の研ぎや、各種治具の使い方などを行う。 | 樹種選別、木取り 木工ろくろ加工（和式） 木工旋盤加工（洋式） 上記に使用する各種刃物の研ぎ、使用方法 ゲージ（型）、治具の使用方法 | 150 |
| | 【脚物】 机、椅子など「脚」が付いた家具の製作。使用時の身体的な特徴と密接な関係性に留意し、曲線や非直角の加工などを行う。 | 樹種選別、木取り 機械加工（部材） 墨付け、枘、仕口加工 手加工（鉋、のみ等による調整、仕上げ） 板はぎ、接合、接着 天然オイル、ウレタン塗装、すり漆仕上げ | |
| | 【箱物】 引出し、開戸など「収納」する家具の製作。組み手の正確さや、各部材の收まりの加工精度に留意し、直角や平面の基礎加工などを行う。 | 樹種選別、木取り 機械加工（部材） 墨付け、枘、仕口加工 手加工（鉋、のみ等による調整、仕上げ） 板はぎ、組立て、接着 | |
| | 【その他】 花器、文具、アクセサリーなど、オリジナル作品を考え、制作を行う。 | アイディア出し、デザイン 樹種選別、木取り 機械加工 手加工（鉋、のみ等による調整、仕上げ） 天然オイル、ウレタン塗装、すり漆仕上げ | |
| 多様な知識 | 座学 | 工芸概論、工芸とデザイン、伝統文様、マーケット、機械取扱・安全 | 25 |
| | 外部講師講習 | 挽物講習、木彫講習、旋盤講習、スケッチ | |
| | 専門講習 | 琉球、木工芸の歴史、概況 工芸材料、製品評価、企画・表現 | |
| | 現地実習 | 原材料調査、文化施設など訪問 | |
| | 工房訪問、催事視察 | 木工芸工房、各種工芸イベント | |
| | 交流 | 異分野工芸、レクリエーション | |
| | 展示企画 | 画像撮影、ディスプレイ、説明 中間報告会、成果展ほか | |
| | 入所式・修了式など | | 1 |
| 現地実習（工房訪問） | | | 日数 224 |